26 日工会第 70 号
2026 年 3 月 13 日

輸出管理委員会
輸出管理部会委員　殿

（一社）日本工作機械工業会

輸出管理委員会　第８回輸出管理部会 記録

1.日　時　2026 年 3 月 10 日（火）13：00～16：05

2.形　式　対面形式及びオンライン形式

3.会　場　機械振興会館 5 階「5S-2」会議室

4.出席者（順不同、敬称略）計 21 名：うちオンライン参加 8 名

部 会 長	柴田　明仁（オ ー ク マ）	
副部会長	大友　明宏（芝 浦 機 械）	
同	佐藤　忠仁（オ ー ク マ）	大橋　敏雄（ジェイテクト）
同	柴田圭太郎（ジェイテクト）	堀内　雅志（ｼﾁｽﾞﾝﾏｼﾅﾘｰ）
同	久保田晃正（スター精密）	堀井　邦弘（ツ　ガ　ミ）
同	中平　弘樹（DMG 森精機）	吉村　　司（中村留精密）
同	久良　賢二（ﾆﾃﾞｯｸﾏｼﾝﾂｰﾙ）	宮嶋敬一郎（ファナック）
同	中村　　真（ブラザー工業）	小畑　哲朗（ホ ー コ ス）
同	山田　裕樹（牧野フライス）	七井　正三（三 井 精 機）
同	大西　健介（ﾔﾏｻﾞｷﾏｻﾞｯｸ）	
研 究 員	松浦　和雄（日本工作機械工業会）	
事 務 局	辻 知成、礒嵜　裕行、下里　拓朗	

5.議　事

冒頭、柴田部会長より「第 8 回輸出管理部会に出席をいただき感謝を申し上げる。オンラインとの併催ではあるが熟議を尽くしたい。」旨の挨拶があった。

（１）日工会様式製造者チェックフォームの見直しについて

①事務局より、資料 No.1 に基づき、日工会様式製造者チェックフォーム見直しに関する各社意見の集約結果について説明があった。

②以上の説明を受けて、委員より以下要旨の意見が挙がった。

ア．P2 の「イ.同様に『再度提出を依頼』としてはいかがでしょうか。」との指摘部分については、イ.の内容とは趣旨が異なるため、「不備を見

直した後に再度提出を依頼」とする方が適切。

イ．チェックフォームは記載内容のみで判定する前提なのか、エビデンスが必要な場合は資料を添付すべきなのかが不明確。

⇒チェックフォームの趣旨は、確からしさを確認できる資料の提出を求めるものであり、エビデンスがあることを前提としている。

③事務局より、「チェックフォームの記入例として、架空の数値等を入力した例を作成するにあたり、参考として各社からサンプルをご提供いただきたい。」旨の依頼があった。

④③に対し、委員より、日工会限定であれば提供可能との回答があり、後日提供いただくこととした。

⑤柴田部会長より、「今後は以下ステップを踏まえて、輸出管理委員会の承認を得たい。」旨の発言があった。

ア．事務局にて、本日の討議で指摘のあった部分（上記②ア）を踏まえ、チェックフォームの吹き出し部分を修正する。

イ．次回部会会合にて確認した後に速やかに輸出管理委員会参加各社の判定実務担当に更新版チェックフォームの評価を願う。

ウ．各社意見を踏まえたチェックフォーム内容を次々回部会で確認したうえで、輸出管理委員会へ報告する。事務局にはこれらのステップを踏まえながら輸出管理委員会の日程調整をお願いしたい。

（２）輸出管理研修会用テキスト原稿の確認について

①研修会の講師を務める大橋委員より、資料 No.2 に基づき、輸出管理研修会にて使用する講演資料の説明があった。

②以上の説明を受けて、委員より以下要旨の意見が挙がった。

ア．スライド 25 に補足として中国の輸出管理法令についても輸出時に確認した方がよい点を加えた方がよい。

③研修会の講師を務める久良委員より、資料 No.3 に基づき、輸出管理研修会にて使用する講演資料の説明があった。

④以上の説明を受けて、委員より以下要旨の意見が挙がった。

ア．チェックフォーム作成の負担を回避する方法として、有償となる可能性はあるものの、メーカーへ測定依頼を行うという選択肢があることも説明するとよい。

（３）輸出管理研修会の事前質問及び個別相談について

①事務局より、資料 No.4 に基づき、3 月 18 日（水）（名古屋）、19 日（木）（東京）にて開催される輸出管理研修会の個別相談及び事前質問の内容について説明があった。

②以上の説明を受けて、委員より以下要旨の意見が挙がった。

ア．名古屋質問③：「り地域」向け特別一般包括許可について、様式第 14 は、届出から受理までの手続きが経産省内で一定程度確立されているが、様式第 18 は、経産省内においてまだ運用の整理や統一化の途上にあると思われる。

イ．名古屋質問③：受理番号（PN-NI25xxx）の「25」は暦年を表していると思われるが、本資料を今回に限らず今後も使用できるよう、暦年下 2 桁に該当する部分を「xx」に置き換え、PN-NIxxxxx としてはどうか。

ウ．講習会でだされた質問と回答を 1 枚にまとめ、記録として事務局内で保管しておいた方がよい。

（４）2025 年度の活動結果について

①事務局より、資料 No.5 に基づき、2025 年度の輸出管理委員会における課題テーマの活動結果の達成状況を審議した。結果は以下要旨の通り（達成結果は別紙 1.2025 年度輸出管理委員会活動結果案参照）

ア．2025 年度は部会会合を 8 回開催し、2024 年度からの継続課題（取り下げ項目は除く）を含めて、計 17 項目について活動を実施。

イ．17 項目のうち、目的を完了したものが 4 項目、継続中が 12 項目、未着手が 1 項目。

ウ．Ⅰ（2025 年度の新規課題）-3 の、「数値制御装置における 5 軸輪郭制御に関する規制の標準化」は CISTEC との役割分担や連携の在り方について、まだ議論はされていない。

エ．Ⅰ-6 及びⅠ-7 は、部会全体として取り組むテーマという趣旨から外れるため、活動結果から削除することとしたい。

オ．「Ⅱ．2024 年度からの継続課題」-9 は、何のガイドラインかわかるように明示（制度測定ガイドライン）する。

カ．「Ⅲ．輸出管理委員会の在り方、進め方、その他」について、講習会・研修会は部会として相当の工数を割いて実施していることから、実績として挙げるべき。

②柴田部会長より、「期初に実施する輸出管理委員会の活動案アンケートについて、単なる質問や情報共有を希望する事項と、日工会として具体的に活動すべき事項を区分して整理をしてもらいたい。」旨の付言があった。

（５）その他

①次回（第 9 回）部会を 2026 年 4 月 8 日（水）13:00～17:00、機械振興会館とオンラインにて開催。

②次々回（第 10 回）部会を 2026 年 5 月 29 日（金）13:00～17:00、機械

振興会館とオンラインにて開催。

以上

配布資料
(1)日工会様式製造者チェックフォーム見直しに関する各社意見の集約結果
(2)【研修会】1.工作機械貨物・技術の輸出時・提供時のポイント 2025（2026.3.4）(抜粋版)
(3)【研修会】2.日工会発行文書の解説
(4) 2025 年度 工作機械の輸出管理研修会 個別相談及び事前質問（2026.03.02）
(5) 2025 年度輸出管理委員会活動結果(案)